

2024 年度 一般選抜（後期）（フランス語フランス文学科）

〈特別小論文方式〉「特別小論文」（2024 年 3 月 8 日実施）

合否判定の方法	《特別小論文》《面接》 特別小論文（100 点）および面接（100 点）により評価する。
合否判定の基準	特別小論文・面接あわせて総合評価 120 点以上

《小論文》

出題意図

知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を幅広く測るため、事前に公表されるフランス語フランス文学科の学びに関連するテーマの内容を踏まえて、自分の考えを 800 字以内で論じてもらう。

公表テーマ等

フランスでは毎年、日本の小説や漫画が翻訳され続け、多くの読者を獲得しています。とくに漫画の人気は近年高まっており、外務省がホームページで公表している「フランス共和国基礎データ」には、「2020 年以降、フランスにおける日本の漫画人気は高まり、2021 年にフランスで売れたバンド・デシネ（フランス語の漫画作品であるバンド・デシネ、アメリカのコミック、日本の漫画を含む広義の漫画）は、8,900 万冊に上り、その半数が日本の漫画だとする統計がある」という記述があります。

多くのフランスの人たちは、日本の漫画をフランス語訳で読んでいますが、フランス語に限らず、日本語を外国語に翻訳するときにはさまざまな難しさがあり、漫画に特有の問題もあると言われています。どのような難しさがあるか、以下の資料などを参考にして、調べたり考えたりしてきてください。

※ 外務省「フランス共和国基礎データ」

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/france/data.html>

【参考資料】

動画「【キングダム SP】フランスでも大人気な漫画「キングダム」の翻訳家さんにお話を聞きました」

フランス在住の女優、杏さんが漫画「キングダム」をフランス語に翻訳した翻訳家にインタビューした動画（9分 48 秒）

杏/anne TOKYO 2023/07/20

<https://www.youtube.com/watch?v=GNoSWCPCwc>

Web 連載記事「マンガ家デビューはフランスで」第 6 回「熟練マンガ翻訳者が見た業界の変化」
フランスの漫画出版社の東京オフィス代表による、漫画翻訳に関するエッセイ
<https://webfrance.hakusuisha.co.jp/posts/6057>

Web 記事「セリフに込められた感情だけでなく、漫画に描かれたすべてを英訳にのせる」
日本の漫画の英語への翻訳に関する、翻訳家木村智子さんのインタビュー
<https://www.fellow-academy.com/translators/persons/kimuratomoko/>